

(あて先) 景観整備機構 公益財団法人名古屋まちづくり公社 理事長

申請者

所在地 名古屋市中区丸の内二丁目 1-36

名称 ○○家住宅の活用を考える会

フリガナ 代表者 ナゴヤ ハナコ
名古屋 花子



生年月日 1961年7月25日

歴史まちづくり活動助成申請書

歴史まちづくり活動について、歴史まちづくり活動助成実施要綱による助成を受けたいので、同要綱第6条の規定により下記のとおり申請します。

記

1 歴史まちづくり活動において目的とする予定事業

○○家住宅の保存活用を目的とした地域見学と演奏会

2 助成金交付申請額

金 100,000 円

3 申請する理由

○○区××エリアに残る○○家住宅は、大正○○年に建築された町家建築である。××エリアには旧△△街道が通っており、古くから多くの人が行き来し栄えた。特に××といった現在にも続く伝統産業が発達したため、比較的多くの歴史的建造物がそのまま残っている。

当該建物も伝統的な建築様式を残している。外観には格子窓や下見板張りが見られ、内部は漆喰塗りに真壁造りである。先代が大切に維持してきた建物を壊したくないとの思いを所有者は持っているが、維持管理が大変なため現在空き家となっている。

今回、当該建物を活用したイベントを開催することで、建物の価値を地域の方々に知ってもらい、活用の方策を検討するにあたっての一助としたい。

また、地域の人々や活動団体に歴史的建造物の価値や、保存活用の重要性を知ってもらうための情報発信に力を入れるため、当該助成を申請する。

4 申請者の概要

名 称	〇〇地域の歴史的建物の活用を考える会			
代表者	氏名	名古屋 花子	電話	〇〇-××-▲▼
			FAX	〇〇-××-△▽
E-Mail			〇〇@××	
	住所	〒460-0002 名古屋市中区丸の内二丁目1番36号		
連絡先	氏名	景観 太郎	電話	〇〇-××-■ ■
			FAX	〇〇-××-□□
			E-Mail	××@□□
	住所	〒460-8508 名古屋市中区三の丸三丁目1番1号		
設立時期	2019年12月1日			
構成員数	8人 ※別紙添付			
団体の目的	〇〇地域で歴史的な建物の保存活用を検討・推進する。			
主な活動地域	名古屋市〇〇区××エリア			
活動実績	2020年1月～ 〇〇家の庭掃除をボランティアで行う（月1回） 2020年8月 地元のまちづくり団体との合同検討会開催 2021年9月 地元の歴史的な建物の見学会を実施			
過去に受けた助成	なし			
誓約	当団体は反社会的団体や反社会団体の構成員等の統制下にある団体に該当しないことを誓約します。 <input checked="" type="checkbox"/> ←誓約する場合はチェックしてください。			

5 事業の収入支出予算書

収入

勘定科目	予算額 (円)	内訳
参加費	40,000	1,000円×20名×2回
寄付金	3,000	3,000円×1 (個人、他団体など)
会費より繰入	12,000	
当助成	100,000	※助成金交付申請額と同じ
計	155,000	※①

支出

勘定科目	予算額 (円)	内訳
諸謝金	70,000	講師謝金 (バイオリン演奏家・建物専門家)
旅費交通費	10,000	4,000円・6,000円
使用料および賃借料	15,000	会場使用料 15,000円
印刷製本費	10,000	広報・募集チラシ等
業務委託料	20,000	業務委託費(映像/DVD作成)
保険料	10,000	イベント保険料 @200円×50名分
その他雑費	20,000	その他消耗品・お茶菓子代など
計	155,000	※①と同額

6 助成を受けようとする活動費用の内訳書

勘定科目	予算額 (円)	内訳
諸謝金	70,000	講師謝金
旅費交通費	2,000	公共交通機関
使用料および賃借料	10,000	会場使用料
印刷製本費	3,000	広報・募集チラシ
業務委託料	5,000	外部発信映像作成委託費 ※助成額の半額以下
保険料	10,000	イベント保険料 @200円×40名分
合計	100,000	

(注) 1 この申請書には、次に掲げる資料を添付してください。

- (1) 活動提案書 (第2号様式)
- (2) 規約、会則等
- (3) 構成員及び役員の名簿 (氏名、住所 (区まで) を記載してください)
- (4) 事業計画書
- (5) その他理事長が必要と認める資料

2 歴史まちづくり活動助成実施要綱第2条第2項の規定に該当するときは、歴史まちづくり活動助成金を交付しません。また、交付決定後にその旨が判明したときは、交付決定を取り消し、助成金の返還を求める事があります。

上記事由を確認する必要がある場合には、申請書に記載されている情報を 愛知県警察本部に照会することがあります。

備考 用紙の大きさは、日本産業規格 A4 とする。

活動提案書

提案名	〇〇家住宅の保存活用を目的とした地域見学と演奏会
団体名	〇〇地域の歴史的建物の活用を考える会
提案の活動を行う地域	名古屋市〇〇区××エリア
提案の内容	<p>※以下の点に留意して記載してください。</p> <p>①活動の目的・目標 ②身近な歴史的建造物の保存活用への貢献 ③外部発信 ④実現性</p> <p>目的 地域の建物価値を多くの方々に知ってもらい、保存活用の重要性を知ってもらい、活用の方策を検討するにあたっての一助とするため、〇〇家住宅を活用し、イベント（地域見学・演奏会）を開催する。</p> <p>目標 ・イベントは1日で行い、2回開催予定。 午前 10:00～11:30（定員20名） 午後 13:00～14:30（定員20名）</p> <p>内容 ・イベントは1日で2回開催予定。 午前 10:00～11:45（定員20名） 午後 13:00～14:45（定員20名）</p> <p>・前半は専門家による建物の解説を聞きながら、〇〇地域を徒歩にて見学する。</p> <p>・後半は〇〇家にてバイオリンによる演奏会を開催</p> <p>以降は〇〇家家主による話も交えながら自由見学</p> <p>※演奏伴う周辺住民の理解は得れる見通しは立っている ※経費は必要最小限とし、寄付や会費の収集の目途が立っている ※実施に必要な人員についても、会員内でおさめることができる</p>
対外的発信手段（予定）	当日の映像をホームページ及びYouTubeにて公開 内容も建物の魅力が伝わる内容になるよう作成する

活動期間	令和 5 年 9 月 ～ 令和 5 年 12 月
	活動内容
令和 5 年 9 月初旬 下旬 10 月下旬～11 月 12 月	・ イベント内容の精査・検討・準備 ・ 地域住民への広報・募集 ・ イベント開催 ・ 映像の作成・アップ ・ 助成報告書の作成・提出